



用土連絡所・男衾連絡所を全町民利用可能に



介護予防のために…(機能向上訓練の様子)



多くの受診者が訪れる特定健診の会場



コンサート等での活用を期待(役場庁舎ロビー)



岡本安明 議員

連絡所の利用は全町民に

答 現状のまま対応していきます

問 現在、用土連絡所と男衾連絡所の利用は、それぞれその地区に住んでいる方に限定されていますが、これを撤廃し、早急に全町民が利用できるようなにならないか、お伺いします。

答 平成6年度に役場新庁舎が開庁する際、出張所の廃止にあわせて開始したもので、所管区域については、同地域の住民の便宜を図るために設置したという経緯から、現状のまま対応していきたいと考えています。

問 連絡所における証明書等の交付のシステムは、「利用者が交付申請書を書く→それを専用ファクスで本所に送る→本所で申請書を確認する→ファクスで送り返す」という方式です。このシステムならこの地区の方でも利用可能であるのに、なぜそうしないのでしょうか。全く問題なく利用できるはずですが、他地区の方が連絡所を利用するのは、例えばそこに職場があるなどの特別な事情があるからで、地元の方でも連絡所や本所を利用できないからこそ、そこを利用したのだと思います。

しかし、現在は他地区の方が連絡所を利用すると「次回からは本所を利用してください。せっかく来ていただいたので今回は出しますが」と言われるそうです。それでは、その方が再度他地区の連絡所を利用した場合、証明書の交付はしていただけるのでしょうか。お伺いします。

答 そう言われた方は、次は本所に行くだろうと思います。

▽その他の質問

・地区3役(区長・衛生委員・道路委員)の委嘱式及び業務の説明会の開催時期について



田母神節子 議員

介護を必要とする人が安心して受けられる制度に

答 実態調査を受けて検討します

問 来年4月には、介護保険の3年ごとの見直しを実施されます。これまでの2回の見直しのような改悪でなく、「改善」を要求します。第4期介護保険事業計画に向け、厚労省から基本的な考え方、目標が出ています。「施設の抑制」「施設利用者の重度化」「介護施設の個室化」「介護型医療施設の廃止・転換」等、今まで利用できた介護が利用できないことのないよう改善していただきたいと思ひます。

また、介護報酬の改善については、2回の削減は、介護の人材不足、経営難を招きました。介護保険料の改定については、改定のたびに値上げの方向です。そして社会保障切り捨てに伴う制度の見直し、介護予防の名による介護からの締め出しは、無料から有料へと制度を利用できなくなりました。今後はそのようなことのないよう改善してほしいと思ひます。また保険料、利用料の値上げを食いとめ、町独自の減免制度の充実を図ってほしいと思ひます。これらについて伺います。

答 介護保険制度の運営は、大里広域市町村圏組合が保険者として、これまでに第4期介護保険事業計画策定の基礎資料収集のため、介護保険利用者等実態調査の分析結果を踏まえて、10月上旬を目途に事業計画素案作成が進められている状況です。その後、介護保険担当課長会議と事業計画策定委員会の審議を経て、正副管理者会議の開催等の中で検討していきます。

▽その他の質問

・「地デジ」移行によるテレビ難民をつくらない
・暖房費の補助を



原口孝 議員

メタボ*健診、受診率の見込みは

答 20年度の目標は25%です

問 ことし4月から始まった特定健診・保健指導(通称メタボ健診)について、町の体制づくりと医師会等との話し合いなどは進んでいるのですか。国が定めた実施率に達しない場合、後期高齢者医療制度(長寿医療制度)への負担金が最大10%増えるペナルティーが課せられます。また将来、町への負担増と、健診・指導での将来予算はどのくらいになるのか、これらに対し、国の対応の遅れや準備不足、ペナルティー制度の廃止、医療費削減効果に疑問が出ることも考えられます。今後、他市町村との連携も必要であると思ひます。医療費削減は今後の重要課題であり、予防対策に力を入れることが大切です。そこでまず、受診無料化で初年度25%、5年後65%という目標の推移について伺います。

答 この健診はこれから始まる場所で受診率は未定ですが、実施計画では、20年度の目標は25%、次年度以降年10%増を見込んでおり、5年後には65%としています。受診料は無料です。

問 寄居町を中心とした医療機関、医師会との連携について伺います。

答 本年度は深谷市・大里郡医師会と契約を結び、集団健診で実施する計画であり、個別の医療機関での健診は行いません。

問 保健師、看護師、管理栄養士の保健指導体制について伺います。

答 特定保健指導は、町の保健師及び看護師が実施する計画です。

(*)メタボ 「メタボリックシンドローム」の略。内臓に脂肪が蓄積した肥満(内臓脂肪型肥満)によって、高血圧、高脂血症、糖尿病などのさまざまな病気が引き起こされやすくなった状態のこと。



本間登志子 議員

庁舎ロビーを開放し、コンサートの開催を

答 業務への影響もあり、考えていません

問 庁舎ロビーを、写真展や絵画展の場として貸し出しているようですが、他の自治体ではコンサートも行われています。今、子どもたちの合唱団やさまざまなコーラスグループがたくさんあります。特に寄居中学校の吹奏楽部は関東大会に出場し、優秀な成績でしたが、発表の場がありません。開かれた庁舎として、町民の皆さんが楽しめるコンサート会場として、庁舎ロビーを開放してもらえたら、広い庁舎も理解でき、身近に感じて、大人から子どもまで楽しいひとときを過ごし、すばらしいコミュニケーションの場所となり、喜ばれると思ひます。庁舎ロビーでのコンサート開催の可能性と、自動演奏できるピアノを置くことについて伺います。

答 役場庁舎ロビーについては、業務を妨げない範囲において、書・絵・写真などの作品を展示する場として有効活用しています。コンサートの開催は、窓口や電話対応、相談業務等への影響があり、開放は考えていません。また、ピアノ設置の考えはありません。

問 業務終了後、支障のないよう2、3時間のことです。年1回サマーコンサートなどはいかがでしょうか。

答 コンサートであれば、他のふさわしい施設を利用させていただきたい。

▽その他の質問

・寄居町勤労福祉センター(よりい会館)の有効利用について

庁舎ロビー開放 メタボ予防策

町政を問う！一般質問

質問者本人が要約して原稿を書いています

町政を問う！一般質問

皆さんの傍聴をお待ちしています